

13. アルバン・ゲート



金融街、ロンドンウォールと名のつけられた通り、その真上にアルバン・ゲートは建設されている。店舗、オフィス、住宅の複合施設である。

ポストモダンを設計スタイルとするテリー・ファレルの代表作である。イギリスの王立都市計画協会（MRTP）の役員である彼の建築の特徴は重量感とシンメトリックなファサードにあると思っていた。アルバン・ゲートもまさに王族の宮殿のような存在感で堂々と建っていた。

しかし建物に近づいていくとそれまでの建物イメージが一変した。ブレースやワイヤー、むき出しの構造体が建物内部の空間を構成していた。ロンドンの街に多くあるハイテク建築の表現である。

オフィスビルが並ぶロンドンウォールは歴史的にも貴重な通りだと思う。過去と今が共存する場所である。テリー・ファレルはそんな環境背景から、ポストモダンと先端技術、2つの設計スタイルが融合したアルバン・ゲートを作ったのであないだろうか。



田向俊己